

高等学校 令和 7 年度（1 学年用） 教科		外国語		科目 英語コミュニケーションⅠ	
教 科： 外国語		科 目： 英語コミュニケーションⅠ		単位数： 3 単位	
対象学年組： 第 1 学年 A 組～ H 組					
教科担当者： （ A組：川崎 ） （ B組：川崎 ） （ C組：米澤 ） （ D組：谷本 ） （ E組：谷本 ） （ F組：米澤 ） （ G組：谷本 ） （ H組：米澤 ）					
使用教科書： （ CROWN English Communication 1 ）					
教科 外国語		の目標：			

【知識及び技能】・外国語の5技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。
・外国語の学習を通じて、言語の動きや役割などを理解している。

【思考力、判断力、表現力等】・場面、目的、状況等に応じて日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に話し合ったりしている。・聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。

【学びに向かう力、人間性等】・他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。・言語やその背景にある文化に対する関心を持って自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
(知識)英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。(技能)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について話された文などを聞いて、その内容を捉える技能を身に付け	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されることを聞くこととしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書					
1 学 期	Lesson1 ●和製英語について、理解して考えを深めることができる。 ●和製英語などについて、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。	[L] 和製英語をめぐる誤解についての対話の概要や要点、必要な情報を、写真を参考にしながら聞き取ることができる。 [R] 和製英語に関する英語話者の体験談を読み、概要や要点を把握することができる。 [Sや] 和製英語の例とその適切な英訳などについて、基本的な語句や文を用いて、与えられた表現を参考に自分の考えを話して伝え合うことができる。 [W] 和製英語の長所または短所について、グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを書いて伝えることができる。	○	○			○	1)活動の観察 2)パフォーマンステスト 3)課題の提出 4)定期テスト・課題テスト	○	○	○	5
	Lesson2 ●片づけの専門家・近藤麻理恵さんの生き方や片づけに関する考え方について、理解して考えを深めることができる。 ●片づけに関する自身の経験や考え方、自分自身がときめくものなどについて、意見を交換したり書いて伝えたりすることができる。	[L] 部屋の整理整頓についての対話の概要や要点、必要な情報を、写真を参考にしながら聞き取ることができる。 [R] 近藤麻理恵さんの生き方や片づけに関する考え方について読み、概要や要点を把握することができる。 [Sや] 片づけに関する自身の経験や考え方、自分自身がときめくものなどについて、基本的な語句や文を用いて、自分の考えを話して伝え合うことができる。 [W] 自分自身がときめくものについて、基本的な語句や文を用いて、考えや経験を書いて伝えることができる。	○	○			○	1)活動の観察 2)パフォーマンステスト 3)課題の提出 4)定期テスト・課題テスト	○	○	○	8
	定期考査								○	○	○	1
	Lesson3 ●アーティスト・ミヤザキケンスケさんの活動や考え方について、理解して考えを深めることができる。 ●ミヤザキケンスケさんの活動や考え方、アートの楽しみ方などについて、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。	[L] アートの楽しみ方についての対話の概要や要点、必要な情報を、写真を参考にしながら聞き取ることができる。 [R] ミヤザキケンスケさんの活動や考え方について読み、概要や要点を把握することができる。 [Sや] ミヤザキケンスケさんの活動や考え方、アートの楽しみ方などについて、基本的な語句や文を用いて、自分の考えを話して伝え合うことができる。 [W] アートの楽しみ方について、基本的な語句や文を用いて、グループで話し合った内容を基に、考えや経験を書いて伝えることができる。 [S発] 好きなミュージシャンやテレビ番組などについて、受動態を用いて、考えを発表することができる。	○	○			○ ○	1)活動の観察 2)パフォーマンステスト 3)課題の提出 4)定期テスト・課題テスト	○	○	○	7
Lesson4 ●縄文時代の人々の暮らしや土器、土偶などについて、理解して	[L] 土偶が伝えるメッセージについての対話の概要や要点、必要な情報を、写真を参考にしながら聞							1)活動の観察 2)パフォーマンステスト 3)課題の提出				

	考えを深めることができる。 ●縄文時代の人々の暮らしや土器、土偶などについて、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。	き取ることができる。 [R]縄文時代の人々の暮らしや土器、土偶などについて読み、概要や要点を把握することができる。 [Sや]縄文時代の人々の暮らしや土器、土偶などについて、基本的な語句や文を用いて、自分の考えを話して伝え合うことができる。 [W]縄文人へ尋ねてみたいことや、土偶の表情から想像し読み取ったことなどについて、基本的な語句や文を用いて、考えを書いて伝えることができる。 [S発]土偶の表情から想像し読み取ったことについて、基本的な語句や文を用いて、書いた内容を基に、自分の考えを発表することができる。	○	○	○	○	4) 定期テスト・課題テスト					7
	定期考査											1
2 学 期	Lesson5 ●人間と動物の共生や環境保護に関するジェーン・グドール博士の考えについて、理解して考えを深めることができる。 ●人間と動物の共生や環境保護などについて、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。	[L]北海道のツル保護を支えた人物についての対話の概要や要点、必要な情報を、写真を参考にしながら聞き取ることができる。 [R]人間と動物の共生や環境保護に関するグドール博士へのインタビューを読み、概要や要点を把握することができる。 [Sや]人間と動物の共生や環境保護などについて、基本的な語句や文を用いて、自分の考えを話して伝え合うことができる。 [W]グドール博士へ尋ねてみたいことや、参加してみたいルーツアンドシューツの活動などについて、基本的な語句や文を用いて、考えを書いて伝えることができる。 [S発]参加してみたいルーツアンドシューツの活動について、基本的な語句や文を用いて、書いた内容を基に、考えを発表することができる。	○	○	○	○	1)活動の観察 2)パフォーマンステスト 3)課題の提出 4)定期テスト・課題テスト					7
	Lesson6 ●スマートフォンの使用に関するよい点と問題点について、理解して考えを深めることができる。 ●スマートフォンの使用に関するよい点と問題点などについて、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。	[L]アメリカの子どもたちの自由時間の使い方についての対話の概要や要点、必要な情報を、グラフを参考にしながら聞き取ることができる。 [R]スマートフォンの使用に関するよい点と問題点について読み、概要や要点を把握することができる。 [Sや]スマートフォンの使用に関する自身の経験や考え、幼少期にスマートフォンやゲームから受けた影響などについて、基本的な語句や文を用いて、自分の考えを話して伝え合うことができる。 [W]幼少期にスマートフォンやゲームから受けた影響について、基本的な語句や文を用いて、グループで話し合った内容を基に、考えや経験を書いて伝えることができる。 [S発]自分の町の観光地について、観光客の目線から、魅力を伝えることができる。	○	○	○	○	1)活動の観察 2)パフォーマンステスト 3)課題の提出 4)定期テスト・課題テスト					7
	定期考査											1
	Lesson7 ●写真家・星野道夫さんの自然に対する考え方、アラスカの自然や人々の暮らしについて、理解して考えを深めることができる。 ●自然や身の回りの環境問題などについて、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。	[L]地球温暖化がアラスカに与える影響についての対話の概要や要点、必要な情報を、写真を参考にしながら聞き取ることができる。 [R]星野道夫さんのアラスカでの体験について読み、概要や要点を把握することができる。 [Sや]自然に対する自身の考えや身の回りの環境問題などについて、基本的な語句や文を用いて、自分の考えを話して伝え合うことができる。 [W]身の回りの環境問題や関心のある環境問題などについて、基本的な語句や文を用いて、グループで話し合った内容を基に、考えや経験を書いて伝えることができる。 [L]写真の持つ力や歴史的なできごとについての対話の概要や要点、必要な情報を、写真を参考にしながら聞き取ることができる。	○	○	○	○	1)活動の観察 2)パフォーマンステスト 3)課題の提出 4)定期テスト・課題テスト					7
	Lesson8 ●戦争の悲惨さや平和の重要性、写真の持つ力について、理解して考えを深めることができる。	[L]写真の持つ力や歴史的なできごとについての対話の概要や要点、必要な情報を、写真を参考にしながら聞き取ることができる。					1)活動の観察 2)パフォーマンステスト 3)課題の提出 4)定期テスト・課題テスト					

[illegible]

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 4 単位

対象学年組：第 2 学年 A組～ H組

教科担当者：（A組：宮川）（B組：小塚）（C組：宮川） D組：熊谷）（E組：関口）（F組：関口）（ G組：熊谷）（H組：小塚）

使用教科書：（ ELEMENT English Communication Ⅱ ）

教科 外国語 の目標：

- 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読【知識及び技能】むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情【思考力、判断力、表現力等】報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自【学びに向かう力、人間性等】律的に外国語を用いて、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の特徴やよきまりに関する事項を理解している。コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて日常的な話題や社会的な話題について話された文等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に話されることを聞こうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書					
1 学 期	Lesson1 【知識及び技能】 情報を意見と事実と整理する。 形式目的語itの用法 【思考力、判断力、表現力等】 文化の違いについて読み取る 【学びに向かう力、人間性等】 説明文を読みその内容についてリテリングを行う。	・指導事項 異文化交流について ・教材 Cultures around the World ・一人1台端末の活用 等 音読練習、エッセイの提出を端末を使って行う。	○	○	○	○	○	1)活動の観察 2)パフォーマンステスト 3)課題の提出 4)定期テスト・課題テスト	○	○	○	11
	Lesson2 【知識及び技能】 概要や詳細を掴み要約文を作る。 複合関係詞、不定詞 【思考力、判断力、表現力等】 文化の違いについて読み取る 【学びに向かう力、人間性等】 説明文を読みその内容についてリテリングを行う。	・指導事項 異文化交流について ・教材 Power of Words ・一人1台端末の活用 等 音読練習、エッセイの提出を端末を使って行う。	○	○	○	○	○	1)活動の観察 2)パフォーマンステスト 3)課題の提出 4)定期テスト・課題テスト	○	○	○	11
	定期考査								○	○		1
	Lesson3 【知識及び技能】 情報の整理、事実と意見 付帯状況、比較表現 【思考力、判断力、表現力等】 文化の違いについて読み取る 【学びに向かう力、人間性等】 説明文を読みその内容についてリテリングを行う。	・指導事項 異文化交流について ・教材 Preconception ・一人1台端末の活用 等 音読練習、エッセイの提出を端末を使って行う。	○	○	○	○	○	1)活動の観察 2)パフォーマンステスト 3)課題の提出 4)定期テスト・課題テスト	○	○	○	11
	Lesson4 【知識及び技能】 情報の整理、グラフの読み取り 分詞構文 完了形の分詞構文 【思考力、判断力、表現力等】 文化の違いについて読み取る 【学びに向かう力、人間性等】 説明文を読みその内容についてリテリングを行う。	・指導事項 異文化交流について ・教材 The Century of War ・一人1台端末の活用 等 音読練習、エッセイの提出を端末を使って行う。	○	○	○	○	○	1)活動の観察 2)パフォーマンステスト 3)課題の提出 4)定期テスト・課題テスト	○	○	○	11
	定期考査								○	○		1

2 学 期	Lesson5 【知識及び技能】 情報の整理、意見と事実 強調構文 助動詞 【思考力、判断力、表現力等】 文化の違いについて読み取る 【学びに向かう力、人間性等】 説明文を読みその内容についてリテ リングを行う。	・指導事項 異文化交流について ・教材 How Our Minds Work ・一人1台端末の活用 等 音読練習、エッセイの提出を端末 を使って行う。	○	○	○	○	○	1)活動の観察 2)パフォーマンステスト 3)課題の提出 4)定期テスト・課題テスト	○	○	○	11
	Lesson6 【知識及び技能】 情報や概要の聞き取りなど 倒置 関係副詞 非制限用法 【思考力、判断力、表現力等】 文化の違いについて読み取る 【学びに向かう力、人間性等】 説明文を読みその内容についてリテ リングを行う。	・指導事項 異文化交流について ・教材 IT and Life ・一人1台端末の活用 等 音読練習、エッセイの提出を端末 を使って行う。	○	○	○	○	○	1)活動の観察 2)パフォーマンステスト 3)課題の提出 4)定期テスト・課題テスト	○	○	○	11
3 学 期	Lesson7 【知識及び技能】 情報や概要の聞き取りなど 未来進行形 that節 【思考力、判断力、表現力等】 文化の違いについて読み取る 【学びに向かう力、人間性等】 説明文を読みその内容についてリテ リングを行う。	・指導事項 異文化交流について ・教材 Advances in Medical Technology ・一人1台端末の活用 等 音読練習、エッセイの提出を端末 を使って行う。	○	○	○	○	○	1)活動の観察 2)パフォーマンステスト 3)課題の提出 4)定期テスト・課題テスト	○	○	○	11
	Lesson8 【知識及び技能】 情報や概要の聞き取りなど 強調構文 複合関係詞 【思考力、判断力、表現力等】 文化の違いについて読み取る 【学びに向かう力、人間性等】 説明文を読みその内容についてリテ リングを行う。	・指導事項 異文化交流について ・教材 A Tiny Step, a Big Impact ・一人1台端末の活用 等 音読練習、エッセイの提出を端末 を使って行う。	○	○	○	○	○	1)活動の観察 2)パフォーマンステスト 3)課題の提出 4)定期テスト・課題テスト	○	○	○	11

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅱ

教 科： 外国語 科 目： 論理・表現Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ H 組

教科担当者：熊谷 宮川 小塚 關口 北鹿渡

使用教科書： Vision Quest English and Expression Ⅱ Ace

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いて、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる高い知識・技能を身に付けている。	場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解し、適切に伝え合える。聞いたり読んだりしたことなどを活用し、幅広い分野において、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できる。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用し、幅広い分野で、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話「や」	話「発」	書					
1 学 期	話題 将来の目標：子供の理想の仕事について書かれた文章を読んで、適切な主語の使い方を理解する。 言語 適切な主語を用いる：主語の選択や主語になる名詞句、形式主語の概念を理解し、適切な文を組み立てる。 表現 目標と達成[書くこと]：自分の目標と達成のために必要なことについて、文と文のつながりを意識して書いて伝える。 論理 文と文をつなぐ：先行する文の内容を代名詞の置き換えやthisで受けたり、つなぎの言葉を用いたりすることで、文と文の論理関係を適切に使用する。	・指導事項 Lesson 1 ・教材 教科書、補助教材、プリントを利用したの英文添削やスピーキングレッスン等	○	○	○	○	○	1)ペア・グループ活動等の観察 2)課題の提出 3)中間考査 期末考査	○	○	○	6
	話題 学校生活：学校で新しい友達を作る方法について書かれた文書を読んで、適切な動詞の使い分けについて理解する。 言語 適切な動詞を用いる：自動詞と他動詞を使い分けたり、群動詞を適切に用いたりして文を組み立てる。 表現 好きな学校行事[書くこと]：自分の高校の行事について紹介する文章を、パラグラフの構成に意識して詳しく書いて伝える。 論理 パラグラフ（パラグラフの基本構成／列挙・順序）：パラグラフの基本構成を学び、列挙・順序のパターンを用いた論理的な構成やつなぎの言葉を適切に用いて、書いて伝える。	・指導事項 Lesson 2 ・教材 教科書、補助教材、プリントを利用したの英文添削やスピーキングレッスン等	○	○	○	○	○	1)ペア・グループ活動等の観察 2)課題の提出 3)中間考査 期末考査	○	○	○	7
	定期考査								○	○		1
	話題 スポーツ：スポーツの歴史について書かれた文章を読んで、時を表す表現の概念を理解する。 言語 時を表す：現在・過去・未来を表すために、適切な動詞の形や文の構造を用いる。 表現 好きなアスリートと業績[書くこと]：自分の好きなアスリートと業績について、パラグラフの構成に意識して詳しく書いて伝える。 論理 パラグラフ（例示・追加）：例示・追加のパターンを用いた論理的なパラグラフの構成やつなぎの言葉を適切に用いて、書いて伝える。	・指導事項 Lesson 3 ・教材 教科書、補助教材、プリントを利用したの英文添削やスピーキングレッスン等	○	○	○	○	○	1)ペア・グループ活動等の観察 2)課題の提出 3)中間考査 期末考査	○	○	○	6
	話題 情報時代：ソーシャルメディアの使用で気を付けるべき点について書かれた文章を読んで、様々な助動詞の概念と文の構造を理解する。 言語 義務・必要・推量を表す：義務・必要・推量を表すために、助動詞を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てる。 表現 ソーシャルメディアの利点と欠点[書くこと]：ソーシャルメディアの利点と欠点の比較について、パラグラフの構成に意識して、自分の意見や主張を書いて伝える。 論理 パラグラフ（比較・対照）：比較・対照のパターンを用いた論理的なパラグラフの構成やつなぎの言葉を適切に用いて、書いて伝える。	・指導事項 Lesson 4 ・教材 教科書、補助教材、プリントを利用したの英文添削やスピーキングレッスン等	○	○	○	○	○	1)ペア・グループ活動等の観察 2)課題の提出 3)中間考査 期末考査	○	○	○	7
	定期考査								○	○		1



2 学 期	話題 環境問題：エネルギーの使い過ぎについて書かれた文章を読んで、名詞を修飾して情報を追加する様々な文の構造を理解する。 言語 情報を加える (1)：形容詞・分詞・前置詞句や不定詞による名詞の修飾を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てる。 表現 エネルギーの使い過ぎによって引き起こされる問題[書くこと]：エネルギーの使い過ぎによって引き起こされる問題について、パラグラフの構成に意識して、自分の意見や主張を書いて伝える。 論理 パラグラフ（原因・理由・結果）：原因・理由・結果について述べる論理的なパラグラフの構成やつなぎの言葉を適切に用いて、書いて伝える。	・指導事項 Lesson 5 ・教材 教科書、補助教材、プリントを利用しての英文添削やスピーキングレッスン等	○	○	○	○	○	1)ペア・グループ活動等の観察 2)課題の提出 3)中間考査 期末考査	○	○	○	6
	話題 文化：異文化理解の重要性について書かれた文章を読んで、関係詞によって情報が追加された文の構造を理解する。 言語 情報を加える (2)：関係代名詞や関係副詞を用いた文の構造を理解し、文を組み立てる。 表現 訪れたい国と文化[書くこと]：訪れたい国とその国の文化について、自身の主張や理由の根拠を示して、詳しく書いて伝える。 論理 主張や理由の根拠を示す：主張や理由の根拠となる情報を示し、資料や他者の言葉の引用や出典を表す表現を適切に用いて、書いて伝える。	・指導事項 Lesson 6 ・教材 教科書、補助教材、プリントを利用しての英文添削やスピーキングレッスン等	○	○	○	○	○	1)ペア・グループ活動等の観察 2)課題の提出 3)中間考査 期末考査	○	○	○	7
	定期考査								○	○		1
2 学 期	話題 言語教育：第二か国語や外国語としての英語について書かれた文章を読んで、語句や文を修飾して情報を追加する様々な文の構造を理解する。 言語 情報を加える (1)：形容詞・分詞・前置詞句や不定詞による名詞の修飾を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てる。 表現 第二公用語としての英語[書くこと]：日本の第二公用語としての英語の導入の賛否に関する記事を読んで、文章全体の概要と構成を理解し、まとめる。 論理 リーディングの要約：精読と多読の2つの読解方法について書かれた記事を読んで、文章全体の構成と要点・要約をまとめる手順を理解する。	・指導事項 Lesson 7 ・教材 教科書、補助教材、プリントを利用しての英文添削やスピーキングレッスン等	○	○	○	○	○	1)ペア・グループ活動等の観察 2)課題の提出 3)中間考査 期末考査	○	○	○	6
	話題 社会：日本の社会の問題点について書かれた文章を読んで、直接話法と間接話法を用いて表した文の構造を理解する。 言語 情報を伝える：相手に情報を伝えるために、直接話法、間接話法、また様々な伝達表現を用いて適切な文の形や構造を組み立てる。 表現 日本の社会[話すこと（やり取り）]：職場の観点から考えた日本の社会に関するプレゼンテーションを聞いて、全体の概要と構成を理解し、まとめる。また、日本の社会をより公平で寛容にする方法について、ペアやグループで議論する。 論理 リスニングの要約：日本の教育制度の目標について話されるプレゼンテーションを聞いて、文章全体の構成と要点・要約をまとめる手順を理解する。	・指導事項 Lesson 8 ・教材 教科書、補助教材、プリントを利用しての英文添削やスピーキングレッスン等	○	○	○	○	○	1)ペア・グループ活動等の観察 2)課題の提出 3)中間考査 期末考査	○	○	○	7
	定期考査								○	○		1

3 学 期	話題 願望：もし億万長者になったら、何をするかについて書かれた文章を読んで、仮定の概念と文の構造を理解する。 言語 条件と仮定を表す：条件や仮定を用いた適切な文の形や構造を理解し、文を組み立てる。 表現 想像上の状況[書くこと]：宝くじが当たり、大金を手にしたらという仮定の状況を想定し、自分の考えや主張をまとめたり、クラスメートと話して伝え合ったりして、スピーチの原稿を作成する。 論理 スピーチ[話すこと（発表）]：スピーチの構成や伝え方を意識して、自分の考えや主張を話して伝える。	・指導事項 Lesson 9 ・教材 教科書、補助教材、プリントを利用しての英文添削やスピーキングレッスン等	○	○	○	○	○	1)ペア・グループ活動等の観察 2)課題の提出 3)中間考査 期末考査	○	○	○	6
	話題 科学技術：AIと共存する方法について書かれた文章を読んで、数量を表す表現の概念と文の構造を理解する。 言語 数量を表す：可算名詞と不可算名詞の使い分けや数量を表す表現、割合・数量の変化を表す表現や文の構造を理解し、文を組み立てる。 表現 AIと共に働くこと[書くこと]：AIと共に働くときに重要な事について、自分の考えやその根拠を示す情報を調べるなどして、クラスに話して伝えるために、プレゼンテーションの原稿を作成する。 論理 プレゼンテーション[話すこと（発表）]：プレゼンテーションの構成や伝え方を意識して、資料やデータなどの資料を提示しながら、自分の考えや主張を話して伝える。	・指導事項 Lesson 10 ・教材 教科書、補助教材、プリントを利用しての英文添削やスピーキングレッスン等	○	○	○	○	○	1)ペア・グループ活動等の観察 2)課題の提出 3)中間考査 期末考査	○	○	○	7
	定期考査								○	○		1

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅢ

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションⅢ 単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 A組～H組

教科担当者：A組：佐藤 B組：竹内 C組：久下 D組：北鹿渡 E組：久下 F組：北鹿渡 G組：佐藤 H組：竹内

使用教科書：BLUE MARBLE English Communication Cutting Edge Blue

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いて、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅢ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて日常的な話題や社会的な話題について話された文等聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に話されることを聞こうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
1 学 期	Lesson 1、2 【知識及び技能】 情報を意見と事実とに整理する。 【思考力、判断力、表現力等】 文化の違いについて読み取る 【学びに向かう力、人間性等】 説明文を読みその内容についてリテリングを行う。 長文読解問題による演習	・指導事項：国際・人権 ・教材：A Chance for Everyone to Shine ・一人1台端末の活用 等 脳科学・心理 Protecting Our Brain from Smartphones 音読練習、エッセイの提出を端末を使って行う。 「Cutting Edge Blue」による長文読解演習	○	○	○	○	○	1)活動の観察 2)パフォーマンステスト 3)課題の提出 4)定期テスト・課題テスト	○	○	○	5
	Lesson 3、4 【知識及び技能】 情報を意見と事実とに整理する。 【思考力、判断力、表現力等】 文化の違いについて読み取る 【学びに向かう力、人間性等】 説明文を読みその内容についてリテリングを行う。 長文読解問題による演習	・指導事項 異文化交流について ゴミの問題 Wrapping Paving the Way to a More Inclusive Society ・教材 Power of Words ・一人1台端末の活用 等 音読練習、エッセイの提出を端末を使って行う。	○	○	○	○	○	1)活動の観察 2)パフォーマンステスト 3)課題の提出 4)定期テスト・課題テスト	○	○	○	8
	定期考査								○	○		1
	Lesson 5、6 【知識及び技能】 情報の整理、事実と意見 【思考力、判断力、表現力等】 文化の違いについて読み取る 【学びに向かう力、人間性等】 説明文を読みその内容についてリテリングを行う。 長文読解演習	・指導事項 自己啓発・芸術 Discovering Your Answers Through Art Thinking Super Sniffers Saving the World ・一人1台端末の活用 等 音読練習、エッセイの提出を端末を使って行う。	○	○	○	○	○	1)活動の観察 2)パフォーマンステスト 3)課題の提出 4)定期テスト・課題テスト	○	○	○	8
	Lesson 7、8 【知識及び技能】 情報の整理、グラフの読み取り 【思考力、判断力、表現力等】 文化の違いについて読み取る 【学びに向かう力、人間性等】 説明文を読みその内容についてリテリングを行う。 長文読解演習	・指導事項 生物・化学 ・教材 The Century of War Perceptions of Time in Different Cultures ・一人1台端末の活用 等 音読練習、エッセイの提出を端末を使って行う。	○	○	○	○	○	1)活動の観察 2)パフォーマンステスト 3)課題の提出 4)定期テスト・課題テスト	○	○	○	7
	定期考査								○	○		1
	Lesson 5・6 【知識及び技能】 情報の整理、意見と事実 【思考力、判断力、表現力等】 文化の違いについて読み取る 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 異文化交流・国際問題 ・教材 How Our Minds Work The Thawing Permafrost ・一人1台端末の活用 等 音読練習、エッセイの提出を端末	○	○	○	○	○	1)活動の観察 2)パフォーマンステスト 3)課題の提出 4)定期テスト・課題テスト				

[illegible]

高等学校 令和7年度 教科 外国語 科目 English Logic & Expression
教科 外国語 科目 English Logic & Expression 単位数 2 単位
対象学年組 第 3 学年 A 組～ H 組

教科担当者 (A組:菅野・竹内) (B組:佐藤・小塚) (C組:菅野・小塚) (D組:佐藤・小塚)
(E組:菅野・竹内) (F組:久下・川崎) (G組:菅野・川崎) (H組:川崎・久下)

使用教科書 (EARTHRISEⅢ, Write to the Point)

教科 外国語 の目標：
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いて、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 English Logic & Expression の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自分の意見や主張などを伝え合うために必要となる論理の構成や展開及び表現等を理解している。問題の解決策を助言するために、自分の意見や主張などを、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合う技能を身に付けている。	問題の解決策を助言できるように、複数の資料を活用しながら、自分の意見や主張などを、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができる。	問題の解決策を助言できるように、複数の資料を活用しながら、自分の意見や主張などを、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
Lesson 1. Coming to Japan 【知識及び技能】 メールの内容を正しく理解している。訪日観光客数増加の利点と欠点を(調べて)理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 訪日観光客数増加の利点と欠点について、クラスメートと意見を交換している。 【学びに向かう力、人間性等】 訪日観光客数増加の利点と欠点について、クラスメートと意見を交換しようとしている。	・指導事項 「Travel」をテーマに、議論したり自分の考えを表現したりする。各3領域につき以下を目標とする。 A. Speak (Interaction) 訪日観光客数増加の利点と欠点について、自分の考えやクラスメートの考えをお互いに共有する。 B. Speak (Presentation) おすすめの観光スポットと交通機関についての発表を40秒程度で行う。 C. Write おすすめの観光スポットと交通機関を含めて、80語程度で返信のメールを書く。	○	○	○	○	○	1 適切に知識及び技能を身に着けたか 2 十分な思考力、判断力、表現力を身に着け、活用したか 3 学びに向かう力を十分に発揮し、他と協力する人間性等は身に付いたか	○	○	○	3
5 時制 (1) 【知識及び技能】 英語構文や英語表現を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 英語構文や英語表現を使って言いたいことを英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 学びに向かう力を適切に発揮し、課題に向けて積極的に共同できる。	・指導事項 英語構文や英語表現を学び、身につけた英語表現を使って指定された内容の英文を書く。 ・教材 Write to the Point ・一人1台端末の活用 課題の配信、英作文の提出等	○	○	○	○	○	1 適切に知識及び技能を身に着けたか 2 十分な思考力、判断力、表現力を身に着け、活用したか 3 学びに向かう力を十分に発揮し、他と協力する人間性等は身に付いたか	○	○	○	2
Lesson 2. Online shopping 【知識及び技能】 メールを送る際の形や、相手の対応を確認したり、相手に依頼したりする際の表現の形を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、オンラインショッピングで起きた問題の報告とその対処依頼のメールを作成している。また、作成したメールをもとに発表を行っている。 【学びに向かう力、人間性等】 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、オンラインショッピングで起きた問題の報告とその対処依頼のメールを作成しようとしている。また、作成したメールをもとに発表を行おうとしている。	・指導事項 「Shopping」をテーマに、議論したり自分の考えを表現したりする。各3領域につき以下を目標とする。 A. Speak (Interaction) オンラインショッピングに潜む問題とその回避方法について、自分の考えやクラスメートの考えをお互いに共有する。 B. Speak (Presentation) オンラインショッピングで起きた問題と、カスタマーサービスに依頼した対処方法についての発表を40秒程度で行う。 C. Write オンラインショッピングで起きた問題の報告とその対処依頼のために、カスタマーサービスに90語程度のメールを書く。	○	○	○	○	○	1 適切に知識及び技能を身に着けたか 2 十分な思考力、判断力、表現力を身に着け、活用したか 3 学びに向かう力を十分に発揮し、他と協力する人間性等は身に付いたか	○	○	○	3
6 時制 (2) 【知識及び技能】 英語構文や英語表現を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 英語構文や英語表現を使って言いたいことを英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 学びに向かう力を適切に発揮し、課題に向けて積極的に共同できる。	・指導事項 英語構文や英語表現を学び、身につけた英語表現を使って指定された内容の英文を書く。 ・教材 Write to the Point ・一人1台端末の活用 課題の配信、英作文の提出等	○	○	○	○	○	1 適切に知識及び技能を身に着けたか 2 十分な思考力、判断力、表現力を身に着け、活用したか 3 学びに向かう力を十分に発揮し、他と協力する人間性等は身に付いたか	○	○	○	2
中間考査								○	○		1

[illegible]

Lesson 6 Aiman, the household robot 【知識及び技能】 理由とともに意見を述べる際の表現の形を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、人気になると思う家庭用ロボットの機能についての意見を書いている。また、書いた意見をもとに発表を行っている。 【学びに向かう力、人間性等】 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、人気になると思う家庭用ロボットの機能についての意見を書こうとしている	・指導事項 「Technology」をテーマに、議論したり自分の考えを表現したりする。各3領域につき以下を目標とする。 A. Speak (Interaction) テクノロジーの利点と欠点について、自分の考えやクラスメートの考えをお互いに共有する。 B. Speak (Presentation) 人気になると思う家庭用ロボットの機能についての発表を1分程度で行う。 C. Write 人気になると思う家庭用ロボットの機能について、100語程度で文章を書く。 ・教材 Write to the Point ・一人1台端末の活用 課題の配信、英作文の提出等						1 適切に知識及び技能を身に着けたか 2 十分な思考力、判断力、表現力を身に着け、活用したか 3 学びに向かう力を十分に発揮し、他と協力する人間性等は身についたか					3
10 数字の表現 【知識及び技能】 英語構文や英語表現を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 英語構文や英語表現を使って言いたいことを英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 学びに向かう力を適切に発揮し、課題に向けて積極的に共同できる。	・指導事項 英語構文や英語表現を学び、身につけた英語表現を使って指定された内容の英文を書く。 ・教材 Write to the Point ・一人1台端末の活用 課題の配信、英作文の提出等						1 適切に知識及び技能を身に着けたか 2 十分な思考力、判断力、表現力を身に着け、活用したか 3 学びに向かう力を十分に発揮し、他と協力する人間性等は身についたか					2
Lesson 7 Recipes 【知識及び技能】 学んだ知識を用いてお好み焼きのレシピを書く基本的な技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、お好み焼きのレシピを書いている。また、書いた内容をもとに発表を行っている。 【学びに向かう力、人間性等】 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、お好み焼きのレシピを書こうとしている。	・指導事項 「Food」をテーマに、議論したり自分の考えを表現したりする。各3領域につき以下を目標とする。 A. Speak (Interaction) ご当地料理の人気を広めるための方法について、自分の考えやクラスメートの考えをお互いに共有する。 B. Speak (Presentation) お好み焼きの作り方についての発表を1分程度で行う。 C. Write お好み焼きのレシピを80語程度で書く。 ・教材 Write to the Point ・一人1台端末の活用 課題の配信、英作文の提出等						1 適切に知識及び技能を身に着けたか 2 十分な思考力、判断力、表現力を身に着け、活用したか 3 学びに向かう力を十分に発揮し、他と協力する人間性等は身についたか					3
Lesson 8 Direct and indirect ways of communication 【知識及び技能】 イラストの内容を時系列で説明する際の表現の形を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、ある人の人助けの経験を書いている。 【学びに向かう力、人間性等】 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、ある人の人助けの経験を書こうとしている。	・指導事項 「Society」をテーマに、議論したり自分の考えを表現したりする。各3領域につき以下を目標とする。 A. Speak (Interaction) 車いす利用者が直面する問題点を挙げ、どのように手助けできるかについて、自分の考えやクラスメートの考えをお互いに共有する。 B. Speak (Presentation) ある人の人助けの経験についての発表を1分程度で行う。 C. Write ある人の人助けの経験を90語程度で書く・教材 Write to the Point ・一人1台端末の活用 課題の配信、英作文の提出等						1 適切に知識及び技能を身に着けたか 2 十分な思考力、判断力、表現力を身に着け、活用したか 3 学びに向かう力を十分に発揮し、他と協力する人間性等は身についたか					3
中間考査												1
Lesson 9 Should we use social media? 【知識及び技能】 題材に必要な英語の語句や表現を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 題材について課題を見つけて考察し適切な意見や主張を改善策として表現できる力を身に着ける。 【学びに向かう力、人間性等】 学びに向かう力を適切に発揮し、課題に向けて積極的に共同できる。	・指導事項 話題 SNSの好影響と悪影響：SNSのプラス面とマイナス面について書かれた記事を読んで、SNSが日常生活に与える影響について考える。 表現 類似 (Similarity)：類似を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てる。 論理 パラグラフ【書くこと】：SNSの使用のメリットとデメリットについて、自分の考えを理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。 ・教材 Write to the Point ・一人1台端末の活用 課題の配信、英作文の提出等						1 適切に知識及び技能を身に着けたか 2 十分な思考力、判断力、表現力を身に着け、活用したか 3 学びに向かう力を十分に発揮し、他と協力する人間性等は身についたか					3
11 仮定・条件の基本 【知識及び技能】 英語構文や英語表現を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 英語構文や英語表現を使って言いたいことを英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 学びに向かう力を適切に発揮し、課題に向けて積極的に共同できる。	・指導事項 英語構文や英語表現を学び、身につけた英語表現を使って指定された内容の英文を書く。 ・教材 Write to the Point ・一人1台端末の活用 課題の配信、英作文の提出等						1 適切に知識及び技能を身に着けたか 2 十分な思考力、判断力、表現力を身に着け、活用したか 3 学びに向かう力を十分に発揮し、他と協力する人間性等は身についたか					2

学	Lesson 10 Future career plans a?	【知識及び技能】 インターンシップへの申込書に書く内容を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、インターンシップへの申込書を書いている 【学びに向かう力、人間性等】 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、インターンシップへの申込書を書こうとしている。また、書いた内容をもとに発表を行おうとしている。	・指導事項 「Career」をテーマに、議論したり自分の考えを表現したりする。各3領域につき以下を目標とする。 A. Speak (Interaction) 将来のキャリアをどのくらい早く決めるべきかについて、自分の考えやクラスメートの考えをお互いに共有する。 B. Speak (Presentation) 申し込みたいインターンシップについての発表を90秒程度で行う。 C. Write インターンシップへの申込書を、100語程度で書く。・教材 Write to the Point ・一人1台端末の活用 課題の配信、英作文の提出等	○	○	○	○	1 適切に知識及び技能を身に着けたか				3
	1 2 仮定・条件の応用	【知識及び技能】 英語構文や英語表現を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 英語構文や英語表現を使って言いたいことを英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 学びに向かう力を適切に発揮し、課題に向けて積極的に共同できる。	・指導事項 英語構文や英語表現を学び、身につけた英語表現を使って指定された内容の英文を書く。・教材 Write to the Point ・一人1台端末の活用 課題の配信、英作文の提出等		○	○	○	1 適切に知識及び技能を身に着けたか				2
	Lesson 11 Media reliabilitsy?	【知識及び技能】 ニュース記事とグラフの要点をまとめる際のポイントや表現の形を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、さまざまなメディアによる情報の信頼性について書いている 【学びに向かう力、人間性等】 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、さまざまなメディアによる情報の信頼性について書こうとしている。	・指導事項 「Media」をテーマに、議論したり自分の考えを表現したりする。各3領域につき以下を目標とする。 A. Speak (Interaction) デジタルメディアとプリントメディアではどちらの情報源をよく使うかについて、自分の考えやクラスメートの考えをお互いに共有する。 B. Speak (Presentation) さまざまなメディアによる情報の信頼性についての発表を90秒程度で行う。 C. Write さまざまなメディアによる情報の信頼性について、110語程度で書く。・教材 Write to the Point ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	1 適切に知識及び技能を身に着けたか				3
	1 3 比較の基本	【知識及び技能】 英語構文や英語表現を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 英語構文や英語表現を使って言いたいことを英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 学びに向かう力を適切に発揮し、課題に向けて積極的に共同できる。	・指導事項 英語構文や英語表現を学び、身につけた英語表現を使って指定された内容の英文を書く。・教材 Write to the Point ・一人1台端末の活用 課題の配信、英作文の提出等		○	○	○	1 適切に知識及び技能を身に着けたか				2
	期末考查								○	○		1
学	Lesson 12 Garbage problems	【知識及び技能】 グラフの要点をまとめる際のポイントや表現の形を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、グラフとメールの要点を押さえ、ゴミ問題とその解決方法について意見を書いている 【学びに向かう力、人間性等】 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、グラフとメールの要点を押さえ、ゴミ問題とその解決方法について意見を書こうとしている。	・指導事項 「Environment」をテーマに、議論したり自分の考えを表現したりする。各3領域につき以下を目標とする。 A. Speak (Interaction) 身の回りのゴミ問題とその解決方法について、自分の考えやクラスメートの考えをお互いに共有する。 B. Speak (Presentation) ゴミ問題とその解決方法についての発表を90秒程度で行う。 C. Write グラフとメールの要点を押さえ、ゴミ問題とその解決方法について、110語程度で意見を書く。・教材 Write to the Point ・一人1台端末の活用 課題の配信、英作文の提出等	○	○	○	○	1 適切に知識及び技能を身に着けたか				3
	1 4 比較の応用	【知識及び技能】 英語構文や英語表現を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 英語構文や英語表現を使って言いたいことを英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 学びに向かう力を適切に発揮し、課題に向けて積極的に共同できる。	・指導事項 英語構文や英語表現を学び、身につけた英語表現を使って指定された内容の英文を書く。・教材 Write to the Point ・一人1台端末の活用 課題の配信、英作文の提出等		○	○	○	1 適切に知識及び技能を身に着けたか				3
	1 5 読歩の表現	【知識及び技能】 英語構文や英語表現を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 英語構文や英語表現を使って言いたいことを英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 学びに向かう力を適切に発揮し、課題に向けて積極的に共同できる。	・指導事項 英語構文や英語表現を学び、身につけた英語表現を使って指定された内容の英文を書く。・教材 Write to the Point ・一人1台端末の活用 課題の配信、英作文の提出等		○	○	○	1 適切に知識及び技能を身に着けたか				3

[illegible]

高等学校 令和7年度（3学年用）教科		外国語	科目
教科：外国語	科目：総合英語（標準）	単位数：2	単位
対象学年組：第 3 学年 A 組～ H 組			
教科担当者：①a：佐藤	①b：川崎	②：川崎	③：佐藤 ④：小塚
使用教科書：（Change the World Standard）			
教科 外国語	の目標：		
【知識及び技能】	語彙習得、精読力と速読力の養成、正しい英文の理解		
【思考力、判断力、表現力等】	論理的な読み方ができること、本文の表現を使ってサマリーや自分の意見を英		
【学びに向かう力、人間性等】	様々な題材を通じて、知的好奇心を持ち、さらに深く学ぶ力を身につけること		
科目 総合英語（標準）	の目標：		

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
語彙習得、精読力と速読力の養成、正しい英文の理解	論理的な読み方ができること、本文の表現を使ってサマリーや自分の意見を英語で表現すること	様々な題材を通じて、知的好奇心を持ち、さらに深く学ぶ力を身につけること

[illegible]

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕						書
1 学 期	A 単元 Unit 1 Unit 2	正確な精読（分析的な読み方） パラグラフリーディングによる速読 より高度な長文に対応するための 応用力の向上 内容に関する興味関心の向上 PPを用いた英語指導	○	○			○	授業における意欲・ペアワーク等による 意見交換、発表 アチーブメントテストによる理解度測定 初見問題による応用力測定	○	○	○	4
	B 単元 Unit 3 Unit 4	正確な精読（分析的な読み方） パラグラフリーディングによる速読 より高度な長文に対応するための 応用力の向上 内容に関する興味関心の向上 PPを用いた英語指導	○	○			○	授業における意欲・ペアワーク等による 意見交換、発表 アチーブメントテストによる理解度測定 初見問題による応用力測定	○	○	○	4
	定期考査 Units 1-4								○	○		1
	C 単元 Unit 5 Unit 6	正確な精読（分析的な読み方） パラグラフリーディングによる速読 より高度な長文に対応するための 応用力の向上 内容に関する興味関心の向上 PPを用いた英語指導	○	○			○	授業における意欲・ペアワーク等による 意見交換、発表 アチーブメントテストによる理解度測定 初見問題による応用力測定	○	○	○	4
	D 単元 Unit 7 Unit 8	正確な精読（分析的な読み方） パラグラフリーディングによる速読 より高度な長文に対応するための 応用力の向上 内容に関する興味関心の向上 PPを用いた英語指導	○	○			○	授業における意欲・ペアワーク等による 意見交換、発表 アチーブメントテストによる理解度測定 初見問題による応用力測定	○	○	○	4
	定期考査 Units 5-8								○	○		1
2 学 期	E 単元 Unit 9 Unit 10 Unit 11 共通テスト対策	正確な精読（分析的な読み方） パラグラフリーディングによる速読 より高度な長文に対応するための 応用力の向上 内容に関する興味関心の向上 PPを用いた英語指導	○	○			○	授業における意欲・ペアワーク等による 意見交換、発表 アチーブメントテストによる理解度測定 初見問題による応用力測定	○	○	○	8
	F 単元 Unit 12 Unit 13 Unit 14 共通テスト対策	正確な精読（分析的な読み方） パラグラフリーディングによる速読 より高度な長文に対応するための 応用力の向上 内容に関する興味関心の向上 PPを用いた英語指導	○	○			○	授業における意欲・ペアワーク等による 意見交換、発表 アチーブメントテストによる理解度測定 初見問題による応用力測定	○	○	○	8
3 学 期	F 単元 Unit 15 Unit 16 共通テスト対策 共通テスト対策	正確な精読（分析的な読み方） パラグラフリーディングによる速読 より高度な長文に対応するための 応用力の向上 内容に関する興味関心の向上 PPを用いた英語指導	○	○			○	授業における意欲・ペアワーク等による 意見交換、発表 アチーブメントテストによる理解度測定 初見問題による応用力測定	○	○	○	8
											合 計	42